動物実験に関する自己点検・評価報告書

就実大学

2026 年 4 月

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程

１）評価結果 ■　基本指針に適合する機関内規程を定めている。 □　機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　機関内規程を定めていない。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、実験動物施設管理運営規程
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した機関内規程が定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

２．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 □　動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験委員会を設置していない。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、動物実験委員会規程、動物実験委員会名簿
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

３．動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 □　動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験の実施体制を定めていない。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、動物実験計画の申請（新規・継続・変更）および終了・中止報告の流れ、動物実験計画書（新規・継続・変更）、動物実験報告書（終 了・中止）報告書、動物実験の自己点検票、動物実験結果報告書、飼養保管施設設置承認申請書、飼養保管施設廃止届
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

基本指針に則した立案、審査、承認、結果報告の実施体制を定めている。実施に必要な動物実験規程等及び各種申請書様式等が適正に定められている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

４．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 □　安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 □　該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、遺伝子組み換え実験安全管理規程、病原体等安全管理規程、毒物及び劇物管理規程、動物実験計画書
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した安全管理に注意を要する動物実験に関連する規定が定められている。該当する動物実験を行っていない。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

５．実験動物の飼養保管の体制

１）評価結果 ■　基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、就実大学実験動物施設細則、就実大学実験動物施設作業手順書、動物実験室設置申請書、施設等廃止届、
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や実験動物飼養保管基準に則した適切な飼養保管の体制が整備されている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

６．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特記事項なし。

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に機能している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、動物実験委員会規程、動物実験委員会・実験動物施設運営委員会事録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針に則した動物実験委員会が適正に機能している。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

２．動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、動物実験計画書（新規・継続・変更）、実験動物搬入・飼育依頼書、動物実験報告書（終了・中止）、動物実験の自己点検票
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針に則して適正に動物実験を実施している。動物実験委員会が動物実験計画書を審査し、学長の承認を得ると共に、結果報告書と動物実験自己点検票により動物実験の実施状況を把握されている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

３．安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

１）評価結果 □　基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。 ■　該当する動物実験を行っていない。

２）自己点検の対象とした資料 該当せず
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず
４）改善の方針、達成予定時期 該当せず

４．実験動物の飼養保管状況

１）評価結果 ■　基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 就実大学動物実験規程、飼育管理日報、実験動物施設作業手順書、緊急時対応マニュアル
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や実験動物飼養保管基準に則した飼養保管が適正に実施されている。実験動物管理者を始め、委員長が飼養保管状況の確認を行っている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

５．施設等の維持管理の状況

１）評価結果 ■　基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 飼育管理日報、実験動物飼養保管状況の自己点検票　(様式 2-2)、実験動物施設作業手順書、就実大学実験動物施設細則、入退室記録、圧力容器自主検査表、圧力容器法定点検記録、実験動物施設管理運営規程、動物実験委員会・実験動物施設運営委員会事録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や実験動物飼養保管基準に則した維持管理がされている。実験動物管理者による日常の視察と実験動物飼養保管状況の自己点検票（様式 2-2)、飼育管理日報の提出によって、 空調設備等が適正に維持管理されている事を委員会は把握している。また委員長が定期的に視察を行っている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

６．教育訓練の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 動物実験に関する教育訓練資料、動物実験教育訓練実施記録、就実大学薬学部実験動物施設ホームページ
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 教育訓練は基本指針や実験動物飼養保管基準に則した教育訓練が実施されている。実施記録も適切に保管されている。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

７．自己点検・評価、情報公開

１）評価結果 ■　基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 動物実験における自己点検・評価報告書、就実大学薬学部実験動物施設ホームページ
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針や実験動物飼養保管基準に則した情報公開がなされている。大学の情報公開ホームページに自己点検・評価報告書をはじめとして、就実大学における動物実験に関する情報を公開している。
４）改善の方針、達成予定時期 特記事項なし。

８．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特記事項なし。